

【受講課程】貨物自動車運転者課程 3日間コース

令和6年10月16日～10月18日

(40代男性)

常日頃より、安全運転に心がけていました。それは事業用トラック乗りだし、会社の為、仲間やお客様の為でもあります。只、今回の研修に参加し、良くも悪くも安全運転についての考え方が変わりました。便利で快適で時に楽しくさせてくれる運転。でも、今回の研修では今までと真逆の運転。急ハンドル・急制動・制御不動時の体験など。自分の操作能力を越えた瞬間、制御不能に陥った大型トラックはすさまじい破壊力を持った鉄の塊なんだと、心の底から恐怖を感じました。特に、判断力の遅延を体験した研修では、時速40キロでの急制動ですが反応するまでの距離に約15mも滑走しており、ほんの1秒でも数十mもずれ、大型に限らず、自動車の運転は常に危険と隣り合わせなんだと気づかされました。運転に自信があったので、安全運転は誰かの為と思っていましたが、今回の研修で、自分の命の為にしなければ、他の人を守る事など出来ないと、心底感じました。



【受講課程】貨物自動車運転者課程 3日間コース

令和6年10月16日～10月18日

(40代男性)

今回、普段では体験できない事を体感させてもらい、これからの自分の運転に役立てれると思いました。

心理学では、内面だけでなく外面でも気付けると言うことにも気付きました。ユーモアに話してくれたり、例え話を用いてくれる事で退屈にも感じませんでしたし、逆にあつという間の座学でした。実技の方でも雨や晴れの時に急ブレーキや、下り坂、カーブでの急ブレーキを体験する事で、車体の振り方なども学べて本当に参考になりました。ここでしか体験できないと知った時には、本当に会社に対しても感謝しかないなと思いました。

今まで過信や慣れで何気なく運転していましたが、自分がどれだけ気をつけなきゃいけないのかも気付かされ、再度見直すことができました。今回、学んだ事を活かせるように、また来れていない同僚などにも話して共有したいと思いました。施設の方も対応もよくストレスも感じることなく過ごせました。



【受講課程】貨物自動車運転者課程 3日間コース

令和6年10月16日～10月18日

(20代男性)

今回貨物自動車運転者大型車の研修を受講してとてもいい経験になりました。夜間研修時には、暗い時の見え方だったり、対向車のライトと自分のライトの間に人がいると見えなくなる蒸発現象など改めて夜間の怖さを実感することができました。

ブレーキング研修では、速度を上げた状態からの急ブレーキをかけ、ABS装置の作動や制動距離の確認などを行いました。やはり普段ABS装置が作動するようなブレーキをしないのでいい経験になりました。急ブレーキをかけた時の制動距離も実際に見て、体験することができてよかったです。

スキッド走行では、路面状況の悪い時のブレーキ体験をすることができました。

実際の道路ではできない体験を今回の研修で体験できたので、とてもいい経験になりました。



【受講課程】安全運転管理課程 4日間コース

令和6年11月4日～11月7日

(50代男性)

今回は安全運転管理者研修の参加者に選んでいただき、誠にありがとうございました。

過去の運転経歴や受けた教育の中で車の一般的な経験や知識はありましたが、人間と車の限界については考えたこともありませんでした。

実際の人間の限界、自分の反応速度、車の限界、夜間の見え方、タイヤの空気圧の違い、路面の摩擦係数の違い他、全てを今回参加された25名の様々な年代の人と比較ができる体験は、安全運転中央研修所以外では難しく貴重な体験をさせていただきました。

トラックの安全運転教育を行っている立場で運転の限界を伝えることが必要かどうかは分かりませんが、体験させていただいた人間の限界、車が限界を超えるとどうなるのか、車の特性（座学）、交通危険学（座学）など、うまく融合させて今後の初任運転者教育、添乗指導教育に活かしていきたいと思います。



【受講課程】安全運転管理課程4日間コース

令和6年11月4日～11月7日

(60代男性)

安全運転管理課程4日間コースへ入所させていただきました。当初から「年齢的にもきつくだろ  
うな」と思っていたのですが、やはりきつかったです。しかし、今の私自身の「自動車運転技術に関  
して身体的能力の限界」を体験できるいい機会だったと思います。一番印象に残っている研修内容  
は単純ではありますが、「車を正確に扱うための正しい運転姿勢」であります。担当教官の主眼も  
そこにあったように思います。基本走行、ブレーキング、スラローム、スキッド走行、危険回避、  
どれをとっても原点は「正しい運転姿勢」であり、長時間の運転にも良い。それが結果的には「腰  
痛持ちが多いドライバーの健康にもつながることを身をもって体験できました。今後、自分の運転  
にも、また、ドライバーへの教養にも活かしていきたいと考えています。施設、環境、指導者、ど  
れをとっても日本一だと思います。次なる者へバトンを渡したいと思います。

